

## ● 海陽町流「グローバル教育」の推進 —— 徳島県海陽町教育委員会教育政策課

### 徳島の最南端・海陽町

海陽町は、徳島県の最南端に位置しています。海、山、川などの豊富な自然に囲まれ、漁業やきゅうりのハウス栽培、サーフィンなどのマリンスポーツも盛んです。

人口は2023年2月末現在で8,604人ですが、海陽町へ移住する方も増えてきています。その中には県外からだけでなく海外からの移住者も少なくありません。

2021年12月からは、道路と鉄道の両方を走行する車両「DMV（デュアル・モード・ビークル）」が、世界で初めて本格営業運行を始めました。以降、県内外問わずDMVを目的に来られる観光客で町内は賑わっています。最近ではインバウンド観光も多く見られるようになり、「アフターコロナ」への変化も感じられます。



DMV 発進式の様子

### 学校内・外での「グローバル教育」

海陽町では、現在2人の外国語指導助手（ALT）と、2人の国際交流員（CIR）が活躍してくれています。町では、中学卒業時に日常会話レベルの英語が話せる教育をめざした「グローバル教育」事業を行っており、JETプログラム参加者がそのさまざまな取り組みに全力で取り組んでくれています。

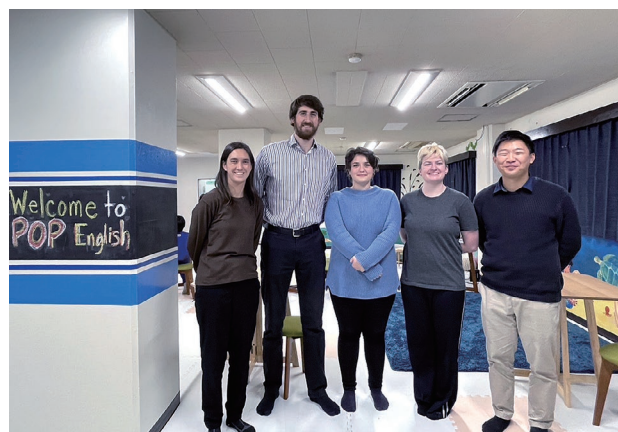
#### ① 学校現場での「Sプラン」

学校現場での英語教育については、「Sプラン（School

Plan）」として、町で任用している日本人スタッフおよびグローバル教育推進員（ネイティブスタッフ）と協力して子どもたちの英語力を高める取り組みを行っています。中学校の総合的な学習の時間や小学校の朝活動での授業など、英語授業外の活動も積極的に行い、今年度からは“All English”での展開にも挑戦しているところです。

他にも、幼児期から英語に触れる機会を増やすため、町内の保育所や幼稚園にて4～5歳児への英語教育も進めています。

ALTのサラさんとメイさんは、任用6年目（新型コロナウイルス感染症の影響で1年延長）の現在も現場の第一線で活躍してくれています。長期にわたる指導の結果、子どもたちの成長を直に感じながら個々の良さを引き立てる指導をしてくれています。



公民館にEnglish Labを構え、放課後に子どもたちと英語を使って交流しています（左からALTメイさん、グローバル教育推進員ジェフリーさん、CIRグウェナフェーイさん、ALTサラさん、CIRトニーさん）

#### ② 学校外で英語に触れる「Cプラン」

学校で学んだ英語を実際に地域でも使う機会が必要であると考え、「Cプラン（Community Plan）」を同時に推進しています。事業の一部としては、JETプログラム参加者が主に企画・準備・運営をし、さまざまなイベントを行ってきました。ハロウィンパーティーやクリスマス

パーティー、イースターイベントなどを開催し、子どもたちが気軽に楽しんで海外文化を知る機会をたくさん作ってくれています。廃校舎を利用して実施したハロウィンパーティーでは参加者が200人を超え、大盛況でした。



雰囲気たっぷりの廃校舎で仮装とゲームを楽しんだハロウィンパーティー

その他、子どもたちが家庭でも英語を使う機会が増えるよう、大人も参加できる英会話サロンや地域の高齢者の皆さんとの交流も行っています。2022年度末には、CIRのトニーさんの故郷であるオーストラリアと中継をつなぎ、オンラインツアーも行いました。CIRが日本語で説明をしたり、オーストラリアで有名なお土産を配付したりして、参加者の皆さんにはまるで現地にいるかのような体験を楽しんでいただきました。



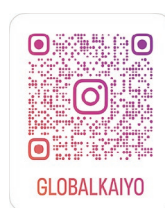
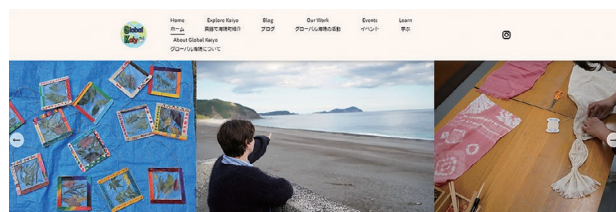
オンラインツアーで進行をするCIRトニーさん

## ホームページ・SNSの運用

こうしたさまざまな活動記録やグローバル事業の情報発信を兼ね、ホームページ「Global Kaiyo」を開設しました。英語と日本語の両方で記事を掲載することで、気軽に英語で書かれた文章を読みながら表現方法を学べ

るというねらいがあります。CIRのトニーさんとグウェナフェーイさんが中心となり、町での体験や町内の名物スポットの紹介をしてくれています。全文英語での外国人向け町紹介コーナーもあり、町のPRにも協力してくれています。

2022年度にはInstagramを開設し、ホームページではどうしても伝えきれないリアルタイム感を大事に、また若者層へのPRとして活動発信を行っています。



ホームページ「Global Kaiyo」とInstagram ぜひご覧ください

## おわりに

子どもたちにとって、ALTやCIRと町の中で会う機会があることは大変嬉しいことではないでしょうか。イベントを開催すると、毎回大勢の子どもたちが自主的に集まってくれます。学校での学習や校外でのさまざまな交流により、「英語を学びたい」という子どもたちの意欲を、これからもALTやCIRと共に育てていきたいと考えています。



町商業施設のイベントに屋台を出店し、町民とふれあいました(左:ALTメイさん、中:CIRトニーさん、右:CIRグウェナフェーイさん)